

◆最終順位

順位	青学大	駒澤大	専修大	東農大	拓殖大	日本大	勝数	負数	分数	勝率	勝点
1	青学大	—	○●○	○○	○○	○○	10	1	0	0.909	5
2	駒澤大	●●	—	○○	○○	○○	8	2	0	0.800	4
3	専修大	●○●	●●	—	○●○	●○●	6	8	0	0.429	2
4	東農大	●●	●●	—	—	○●○	5	8	0	0.385	2
5	拓殖大	●●	●●	○●●	—	—	4	9	0	0.308	1
6	日本大	●●	●●	○●●	●○●	—	4	9	0	0.308	1

※最下位は同率のため、順位決定戦により決定。

1部・2部入替戦

立正大(1部最下位)対青学大(2部優勝)

- 1回戦 立正大1-3青学大
- 2回戦 青学大0-3立正大
- 3回戦 立正大0-7青学大

青学大1部昇格、立正大2部降格

打撃成績表(全日程終了)

	打率	試	席	数	安	二	三	本	点	振	盗	犠	球
赤木	.382	10	41	34	13	4	0	1	3	6	0	4	4
笠間	.357	10	44	28	10	2	0	1	3	7	0	5	11
岡	.333	10	47	42	14	1	1	3	4	10	1	2	3
山本	.297	10	44	37	11	1	0	4	9	8	1	0	7
白崎浩	.200	10	39	35	7	0	0	3	5	7	0	2	2
規定打席数未満													
上村新	.233	10	39	30	7	1	0	1	6	8	0	3	6
北島	.318	9	26	22	7	1	0	3	6	5	0	1	3
中谷	.063	8	21	16	1	0	0	0	0	6	0	3	2
山下	.333	7	16	12	4	0	0	0	1	3	0	1	3
谷口	.043	7	26	23	1	0	0	0	0	3	0	0	3
嘉数駿	.000	6	9	6	0	0	0	0	0	3	0	1	2
柴田	.000	5	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1
小林	.000	5	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
奥野	.231	4	13	13	3	1	0	1	3	1	0	0	0
戸柱	.000	3	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
増本	.000	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤原	.000	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竹島	.000	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋	.000	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民法	.000	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平川	.000	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

春から秋へ—さらにワンランク上を目指して—

◆笠間将裕(商4) —主将として—
 「リーグ戦を振り返って細かい所をもっと詰めていければ、まだまだ強くなれる。手応えを感じたリーグだった。(今季のテーマだった)激しさ、粘り強さというのはサヨナラで勝ったり、ピッチャーが粘って投げてくれたし、良く出来ていた。秋にはもう一つランクを上げていきたい。(夏は)激しさとか駒大の色が定着してきた。それを大切な軸として残して、アクシデントが起きておられないようにしたい。それに周りの応援してくれる人に感謝を持てるように。(ラストシーズンに向けて)今までめっちゃ長かったけど、振り返ってみればあつという間だったなと思う。(秋は絶対1部に上がる)」

◆上村新(管4) —投手を支えて—
 「(投手陣は)加茂がいないことで不安はあった。白崎頼みになると思っていたがそうだった。井口は結構投げてたが、秋には相手にデータもあるから春みたいにはいかない。(課題は)秋に向けて守備をもっと強化する。(立正大は)立正大には勝つたためしがない。相性がよくないのかな。でも負けるものがないから自分達の野球をすれば勝てる」

◆赤木義英(管4) —駒大中打率トップ—
 「(リーグ戦は)後半は100点だが、前半は30点。合わせて60点くらい。(駒大で打率トップだが)正直なれると思わなかった。今季だけと言わないように、秋でも一番打てるようにしていきたい。逆にプレッシャーにならないかな。(印象的だったのは)最後の日大戦。初めてホームランも打つたので。(夏は)フレッシュな夏にする」

◆白崎勇気(管3) —防衛率2部No.1—
 「(リーグ戦は)1部に上がれないと結果よくてもダメ。(青学との差は)甘い球をフェールにしない。安打にするその差かな。(エラーは)自覚というか、18をつけているから人と同じ位置にいちやダメ。それにエラーだからしっかりしないと、というより上級生だからしっかりしないと」と思う。(課題は)個人的には投げることが秋も続けていく」

◆山本祐大(法4) —4番の仕事—
 「(リーグ戦は)個人的には去年よりいい成績(9打点は)4番らしくできた。(4番は)重くはないけど責任は感じる。(印象に残った試合は)拓大のサヨナラが印象的。粘り勝ちできたし、雰囲気が大きく変わった。(夏は)モチベーションを上げる。(課題は)この春以上に」

◆岡将吾(法3) —あと一歩で全試合安打—
 「(リーグ戦は)青学大に負けたのが全て。でもその後6連勝出来たのは自信になった。秋につながる。(印象にあるのは)サヨナラよりも青学大戦。(連続安打は)あんまり気にしてなかった。1試合1試合やっていく感じ。(夏は)濃い野球をして、バッティング技術をあげる」

◆白崎浩之(法2) —2年唯一全試合先発出場—
 「(全試合出場は)よかったです。監督の期待にあまり応えられなかった。打率がよくなかったんでそれが課題。(リーグ戦は)全試合出場という目標は達成して、ホームランも3本だったので半分(50点)。(秋は)楽しみ。(目標は)バッティングだったから山本祐大さんの春の記録を越えたい。いつも目標なので」

投手成績表(全日程終了)

	防御率	試	勝	敗	回	打	安	振	球	失	責
白崎勇	1.20	8	5	1	52	1/3	199	32	44	12	7
井口	2.78	5	2	1	22	2/3	92	20	21	6	7
規定投球回数未満											
小倉	2.35	7	0	0	8	28	3	5	3	2	2
友滝	0.00	4	1	0	3	1/3	12	0	1	2	0
栗林	0.00	2	0	0	2	1/3	11	2	1	2	0
板木	0.00	3	0	0	2	3	1	0	0	0	0
三浦	45.00	1	0	0	1	9	3	2	3	5	5

OB情報



昨年度卒業した林裕也(現・東芝)が平成22年JABA春季神奈川県大会(3月)で首位打者賞を獲得した。3試合11打席9打数6安打(打率.667)。
 現在は社会人野球日本一を争う都市対抗野球本戦の切符をかけた、「新人らしく頑張っていきたい」と予選突破を目指す。
 駒大野球部へ「1部に上がるまでは自分も野球部の一員のつもりだから」とエールを送る。

◆林 裕也【はやし ゆうや】

1987年4月6日生まれ/右投左打/駒大苫小牧高出身/09年度卒

いつも駒大スポーツをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
 駒大野球道のバックナンバー等をご覧になりたい方は下記の連絡先までご連絡をお願いします。
 〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学マスコミ研究所
 TEL 03-6381-8901 FAX 03-3702-9626
 <お知らせ>
 駒大スポーツ応援会(年間購読)への入会方法は、郵便局への振込みとなります。
 口座番号: 00180-4-540785
 口座名称: 駒澤大学マスコミ研究所内駒大スポーツ
 購読料は年間3000円です。年間購読者の方にはコマスポ本号(年4回発行)を毎月発送させていただきます。なお、お手数ですが振込書の通信欄に、ご氏名・ご住所を明記の上、上記までお送りください。
 <駒大スポーツ野球担当スタッフ> 発行責任者 袴田麻友
 矢萩祥恵 山田憲司 菊池美紀 田上慧 橋本圭史 堀江あゆみ 榎島知佳 山田遼太郎

関東大学スポーツ新聞連盟所属



関東大学スポーツ新聞連盟は駒大、青学大、国士大、大東大、中大、東洋大、専大の各スポーツ新聞部で構成され、体育会に所属している部活動取材し、紙面編集を行っています。

ホームページ
<http://www.komaspo.com>

